

出産について

約4人に1人が帝王切開と回答

帝王切開出産した方の約4割は当日に出産方法が変更
妻が帝王切開出産だった父親の約4割が事前に情報が得られていない

また、出産方法に関わらず母親の約4割が自分の出産に
モヤモヤや消化不良の感情を持っている
母親、父親はリアルな情報や多様な出産方法の理解を求めている

～ 出産に関するアンケート結果の概観 ～

- 今回の調査では約4人に1人が帝王切開出産であった。厚生労働省調査（2017年 医療施設（静態・動態）調査・病院の報告の概況）によると以前に比べ、帝王切開出産は年々増えており、本調査でも同様の傾向となった。
- 父親の約2割が「誰もが帝王切開になる可能性がある」ことを知らない。
- 帝王切開出産した方の約4割は当日に出産方法が変更になっており、その約3分の1が分娩室で変更になっているなど、経膈分娩を予定していても直前で帝王切開になる方も多い。
- 帝王切開出産した父親の約4割、母親の約6割が、出産前に、出産や産後の生活について十分な情報を得られていなかった。
- 出産や産後について母親の4割がモヤモヤや消化不良の感情を持っており、多い内容は下記である
 - ・ 出産に関するリアルな情報 / 多様な出産方法に関する理解 / 病院等の説明や対応
- 出産や産後についてモヤモヤや消化不良の感情があるのは、母親44%、父親23%とギャップがある。
- 出産時のことについて、父親は母親に比べ「職場の上司、同僚」に伝えている割合が多い。行政、子育て支援センター、カウンセラー等に伝えているのは、父親、母親とも1割以下に留まる。
- 出産を経験した母親、父親の8割以上が、帝王切開について詳細な情報を事前に知っておいた方がよいと考えている。

■ 以上から、下記が必要と考えられる

- 1) 両親教室、特に父親は、誰もが帝王切開になる可能性や突然の出産方法の変更があること、そして出産のリアルについて学ぶ機会が必要である。
- 2) 職場全体で妊娠出産に関する知識の向上、話やすい環境をつくる。
- 3) 帝王切開に対する社会的理解を深める。

夫婦にとって重要なライフイベントである出産を、父親も積極的に知識を得たり関わることで安心して、笑顔で子育てをスタートできるようファザーリング・ジャパンも取り組んでいきます。

出産と産後の生活に関するアンケート

～出産について～

実施：NPO法人ファザーリング・ジャパン
カイザーパワーキンググループ

アンケート実施期間：2021年4月9日～30日

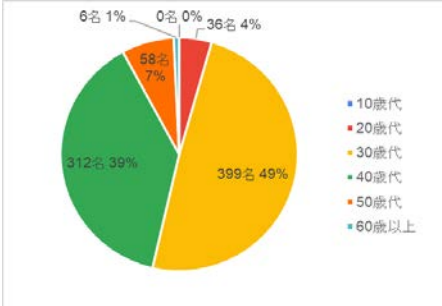
出産や産後の生活については具体的な情報が十分に得られていないことから、出産に不安を感じていたり、急な出産方法の変更にとまどいを感じていたご家庭もあります。また、産後のサポートが十分に活かされていないことから、辛い思いをしていたご家庭もありました。実際のところはどうなのか、私たち父親が出産と産後のリアルについて知ることが必要と感じました。本アンケートで出産と産後の生活について現状を明らかにし、安心して新しい命を迎え、産み育てる環境作りを皆さんと一緒に実現していきたいと考えています。

本アンケートについて

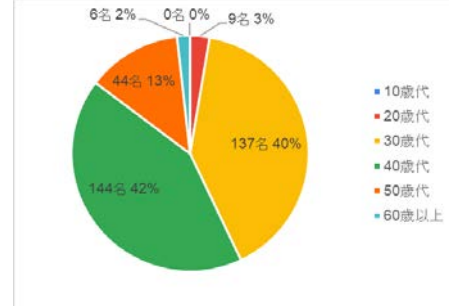
アンケート実施期間：2021年4月9日～30日
アンケート実施方法：WEB回答フォームを利用（母親用、父親用に分けて回答）
アンケート回収方法：SNSにて告知、チラシ配布、周囲への声掛けなど
アンケート回答数：母親 881件 父親 340件 合計 1,121件

回答者の属性

回答者の年代 (母親)



(父親)



母親(88%)、父親(82%)と共に30歳代と40歳代が多かった。

あなたの年代を教えてください (母親)

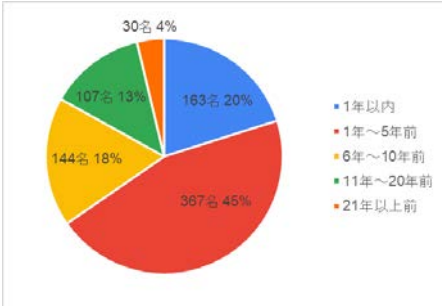
	配偶者の年齢							総計
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	(空白)	
10歳代				1				1
20歳代		15	4					19
30歳代		18	300	30				348
40歳代		2	80	217	10			309
50歳代			5	44	37			86
60歳以上				2	5	6		13
(空白)		1	10	18	6			35
総計	0	36	399	312	58	6	0	811

あなたの年代を教えてください (父親)

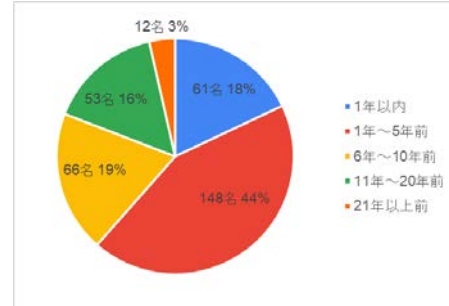
	配偶者の年齢							総計
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	(空白)	
10歳代								0
20歳代		4	5					9
30歳代		3	126	7			1	137
40歳代		1	35	102	4		2	144
50歳代			1	16	25		2	44
60歳以上				2	1	3		6
総計	0	8	167	127	30	3	5	340

今回のアンケートでは、30歳代と40歳代のペアが多かった。

最後の出産はいつですか? (母親)



(父親)

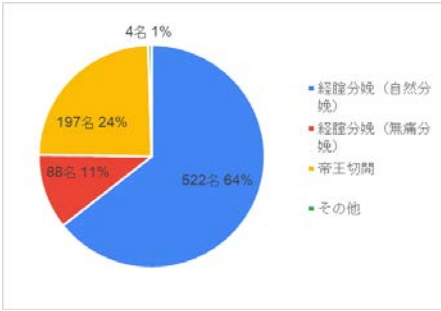


5年以内の出産についての回答者が多かった (母親65%、父親62%)。

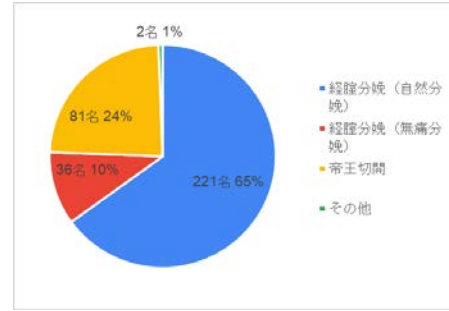
出産について

お子さんの出産方法は？

(母親)



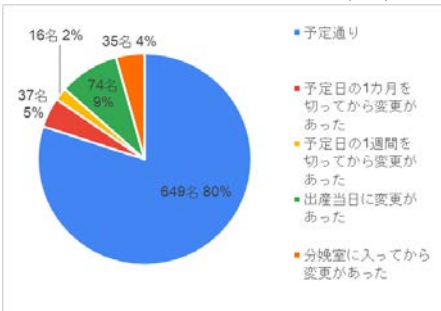
(父親)



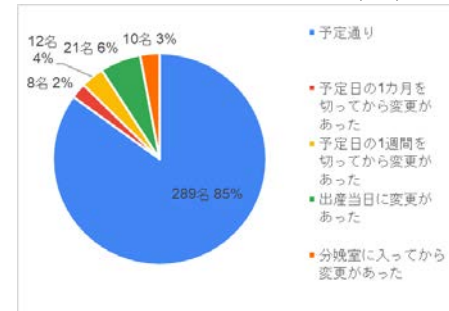
約4人に1人が帝王切開での出産している。

出産方法について

(母親)



(父親)



出産当日に13%が出産方法を変更している。

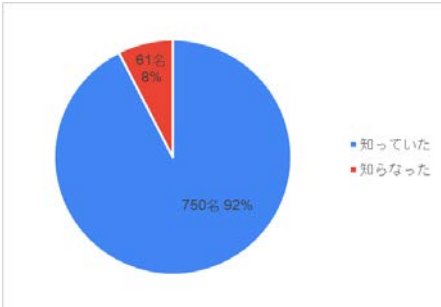
出産方法の変更について (母親)

	出産方法は					総計
	経膈分娩（自然分娩）	経膈分娩（無痛分娩）	帝王切開	その他		
予定通り	93%	82%	46%	0%	80%	649
予定日の1か月を切ってから変更があった	2%	3%	10%	50%	5%	37
予定日の1週間を切ってから変更があった	1%	2%	4%	0%	2%	16
出産当日に変更があった	2%	11%	28%	0%	9%	74
分娩室に入ってから変更があった	1%	1%	13%	50%	4%	35
総計		522	88	197	4	811

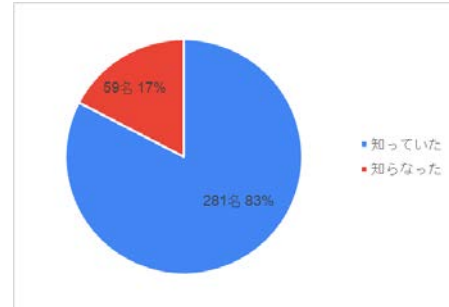
帝王切開出産の約4割は当日の変更、その約3分の1が分娩室に入ってからの変更である。

出産前に、誰もが帝王切開になる可能性があることをご存じでしたか？

(母親)

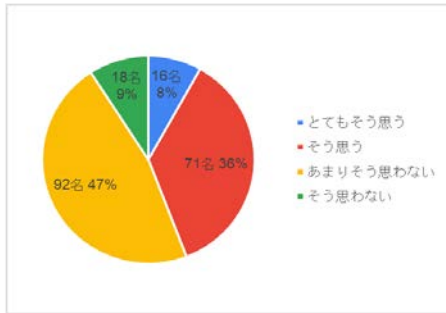


(父親)

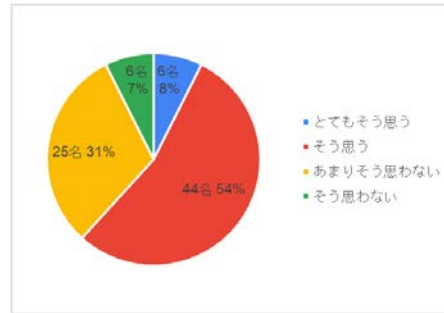


父親の約2割が誰もが帝王切開になる可能性があることを知らない

出産前に、出産や産後の生活について十分な情報が得られましたか？
(帝王切開出産の母親)



(帝王切開出産の父親)



帝王切開出産した父親の約4割、母親の約6割が、事前に十分な情報が得られていない。

出産前に、帝王切開について知識はありましたか？ (母親)

	帝王切開になる可能性					
	知っていた	知らなかった	総計	知っていた	知らなかった	総計
医師の説明により知った	11%	80	2%	1	10%	81
自分や夫が調べて知っていた	20%	152	3%	2	19%	154
友人などから聞いて知っていた	18%	136	13%	8	18%	144
両親教室などで知った	4%	32	0%	0	4%	32
その他の方法で知っていた	18%	135	10%	6	17%	141
言葉は知っていたが知識はなかった	27%	206	69%	42	31%	248
帝王切開のことは知らなかった	1%	9	3%	2	1%	11
総計		750		61		811

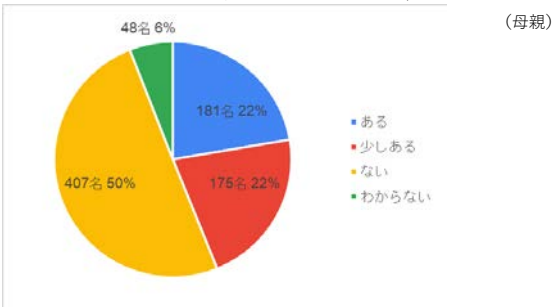
出産前に、帝王切開について知識はありましたか？ (父親)

	帝王切開になる可能性					
	知っていた	知らなかった	総計	知っていた	知らなかった	総計
医師の説明により知った	7%	19	2%	1	6%	20
妻や自分が調べて知っていた	36%	101	10%	6	31%	107
友人などから聞いて知っていた	4%	10	2%	1	3%	11
両親教室などで知った	2%	5	2%	1	2%	6
その他の方法で知っていた	14%	38	2%	1	11%	39
言葉は知っていたが知識はなかった	38%	106	71%	42	44%	148
帝王切開のことは知らなかった	1%	2	12%	7	3%	9
総計		281		59		340

帝王切開の可能性があると知っていた母親の約3割、父親の約4割が知識を持っていなかった。

出産についてモヤモヤや消化不良な~~ど~~感情はありますか？

(例えば、出産方法について、出産方法の変更について、
出産時の妊婦への対応について、その他何でも構いません)



(妻の) 出産についてモヤモヤや消化不良な~~ど~~感情はありますか？

(例えば、出産方法について、出産方法の変更について、
出産時の妊婦への対応について、その他何でも構いません)



母親の約4割が、出産についてモヤモヤや消化不良の感情があるのに対し、父親は約2割であり、
母親と父親にはギャップがあり父親は母親の状態を理解していない可能性がある。

母親のモヤモヤや消化不良に関する自由コメントについて

モヤモヤや消化不良に関する自由コメントの内訳について、

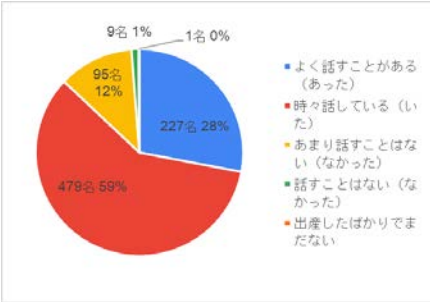
- ・ 出産方法（約80件）、出産方法の事前知識や体調の変化（約50件）の記入があった。事前に、出産方法そのもの、出産方法の変更に関すること、出産前後の体調の変化などについて、「知らなかった」「聞いてなかった」「事前に知っておきたかった」などの声が多く、その内容について教科書的なものではなく、例えば、出産時の痛み、促進剤、出産方法の変更の可能性や変更になった時のこと、出産後の体の変化やお手洗いに行くのも大変なことなど、リアルな生の声を知っておきたかった、知りたかったとの声。
- ・ 出産方法に関する周囲の反応や理解（約20件）は、最後の自由記入欄（180件）と合わせると一番多い。例えば、帝王切開出産や無痛分娩への偏見について、親、周囲の大人だけでなく保健師、助産師など専門職に対しても知識などをアップロードしてほしいとの声。
- ・ 病院の説明、医師等の対応（約130件）は、説明がなかった、放っておかれた、突然選択を迫られ考える余裕がなかった、辛い時も声をかけてよいかわからなかったなどの声。
- ・ その他、家族の立ち合いや家族の対応（約30件）、パースプラン（約10件）などもコメントがあった。

以上、出産に関するアンケート結果から見えてくることは

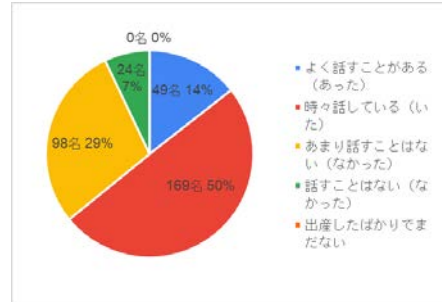
誰もが帝王切開になる可能性があるにも関わらず、予定帝王切開出産でなかった方の多くは心の準備ができていない。

事前知識も充分でないことや出産方法に関わらず、出産そのものについて具体的な情報を事前に得られていないこと、出産方法に関する周囲の理解、病院等の対応から出産のリアルに直面した時に出産についてモヤモヤや消化不良を感じている母親が多い（約4割）。

出産時のことについて人に話すこと（話したこと）がありますか？



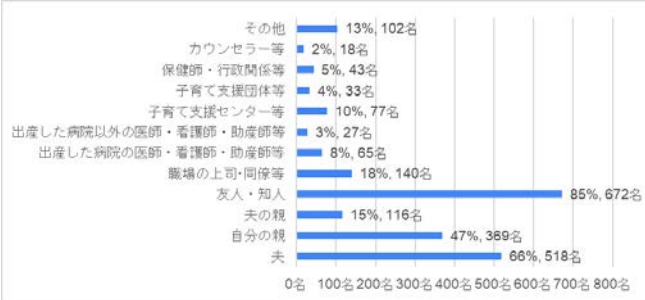
（母親）



（父親）

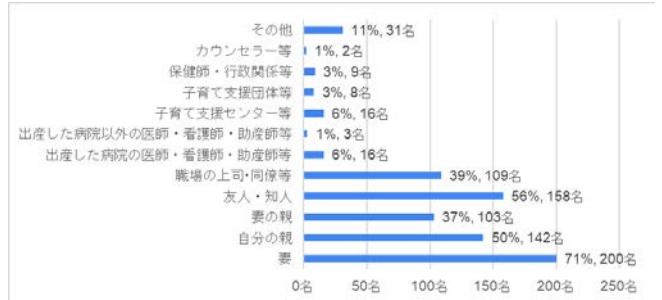
出産時のことは母親は約9割が誰かに話しているが、父親は約4割が話していない。（母親87%、父親64%）。

前項を話す相手は誰ですか？（いる方のみ）（複数選択可）



（母親）

（父親）



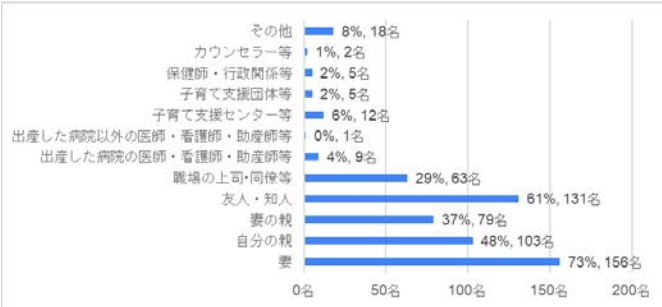
出産について、父親は「職場の上司、同僚」に話す割合が多い（父親39% 母親18%）。

話す相手の順位は母親「友人・知人」「夫」「自分の親」、父親は「妻」「友人・知人」「自分の親」。

また、行政、子育て支援センター、カウンセラー等に伝えている方は1割以下に留まる。

前項を話す相手は誰ですか？（いる方のみ）（複数選択可）

（父親 帝王切開以外）



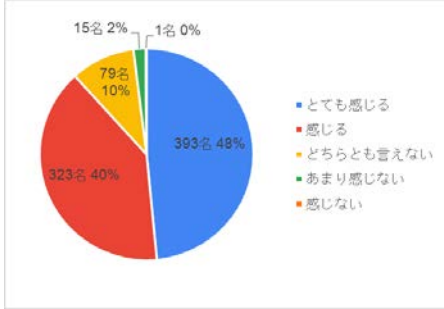
（父親 帝王切開）



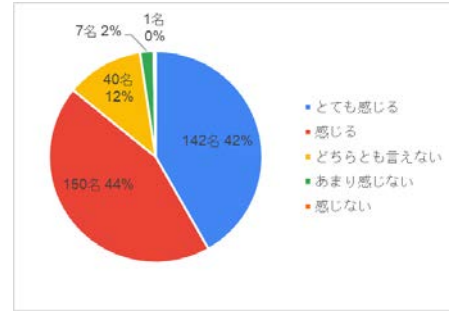
父親は帝王切開出産の場合は、妻の割合が減り、友人・知人が一番多くなる。

帝王切開出産の詳細について全ての妊婦が事前を知っておく必要はありますか？

(母親)



(父親)



帝王切開出産の詳細について、知っておく必要性を感じている (母親88%、父親86%)。